

高槻市 今城塚古墳 阿武山はにわ工場

古墳時代がこんなに身近に

大阪府高槻市を知っていますか？大阪府の北の方、京都府の隣です。

高槻市は、古墳時代の遺跡がたくさんあることから、マスコットキャラクターは、「はにたん」。はにわをモチーフにしたキャラクターです。

自宅から徒歩十分、**今城塚公園**は、誰でも自由に入れる公園です。こんもりとした森の中を探検したり、広い芝生を走り回ったり、小さい子どももたくさん遊んでいます。保育園のお散歩コースにもなっています。

「えっ！こっ！、古墳だったの？」

高槻の子どもたちは、歴史を学習してはじめて、この公園が歴史的価値のある古墳だと気づくことも多いくらい、身近な公園です。

今城塚古墳は、今から1500年くらい前、6世紀の前半に造られた**継体天皇（聖徳太子の曾祖父）の墓**だと言われています。たくさんのはにわは、当時を再現した物です。天皇の墓なのに、誰でも自由に歩き回れる公園になっているのは、



今城塚古墳 はにわが再現されています。



日本でもここだけだそうですよ。みなさん、高槻に来たら、ぜひ、訪れてみてください。たくさんのはにわが、お迎えしてくれます。近くに、今城古代歴史館もあり、無料で見学できます。たくさんのはにわは、お祭りの様子を表しているそうです。



5月15日
発行者 野田

はにわは、ここでつくられていた！
阿武山はにわ工場

ここは、はにわをつくっていた工場です。「**新池遺跡**」といわれています。およそ1500年前にはにわがたくさんつくられていた工場です。全国最大規模です。写真のような「窯（かま）」で焼かれました。ここには、このような窯が、十五基もあつたんですよ。一基で一度に四十五個のはにわが焼けたそうです。

今城塚古墳を造ったときには、ここで一万個ものはにわが焼かれたそうです。

発掘には、とても長い時間がかけられました。貴重な遺跡です。

下の写真は、再現された登り窯です。発掘の様子も模型になっています。

たくさん種類のはにわや、はにわができるまでの様子を書いた漫画もあるので、とても分かりやすいです。

